

川倉 三柱神社へ赤・白・紫のしめ縄奉納



新年の五穀豊穰・無病息災を願う



蒔田 金比羅宮へ三十五俵奉納



02 年



金木町長
鳴海義男

年頭のあいさつ

平成十四年の新春を心から
らお喜び申し上げます。
今年最初の話題として、
昨年度から推し進めてまい
りました町営嘉瀬スキー場
の小学生を対象とした夜間
照明付きのモーターヒルの
ジャンプ台と移設したりフ
トが完成、二月十日の町民
スキー大会と同時に開催さ
れる北東北三県を対象に約
三十人の小学生が参加して
第一回北奥羽学童ジャンプ
大会がこけら落としとして実
施されます。このことによ

り、県内外から南中飛行隊
といわれた金木南中学校ス
キー部ジャンプ陣の底辺の
拡大を期待するものであり
ます。

観光立町を政策として推
進している当町として、雪
解け時になると目につく空
き缶やペットのふんの散乱
等を町民、事業者、所有者
飼主の責務で適切に処理す
ることを目的に昨年十月に
施行した「金木町ポイ捨て
及びふん害の防止に関する
条例」により、環境美化に
対する意識が徐々にではあ
りますが浸透してきており、
今年は今までと違う春を迎
えられる事を楽しみにして
おります。また、町一番の
観光集客力を誇る県立芦野
公園の整備も進み、桜並木
や児童動物園脇の遊歩道は
舗装路として整備され、よ
り快適な散策が楽しめるよ
うになります。引き続き、
津軽鉄道金木駅周辺の整備
も進め、観光客の誘致を図
ります。

金木町の発揚基本は農業
であると考えています。そ
こで米作に係る転作など
「農」不振の課題に積極的に

取り組み、生産調整協力奨
励券の交付に加え、転作物
物としての大豆、麦、そば
等を積極的に奨励・量産を
図るとともに、畑作につい
ても同様に安定高収入が期
待できるような産品の導入
を奨励し、農業所得の向上
に最善を尽くします。

町民の生活と密接に結び
つく生活環境の整備につい
ては、この一月から供用開
始となりました蒔田地区の
農業集落排水処理事業によ
る下水道事業への加入促進、
交通安全や冬の快適な生
活を維持するため、交通量
の多い地域での融雪溝の設
置、老朽化した町営住宅の
建替え等を実施したいと考
えております。

さらに、高齢化社会の到

来に対応した福祉政策の充
実を図るとともに、車社会
における生活圏の広域化や
地方分権、そして地方自治
体の厳しい財政状況を乗り
きる有効な施策として今年
最大の懸案事項となると思
われる市町村合併について
は、今年中に合併の相手先
を具体的に検討し、町とし
ての合併研究会を発足させ
るとともに各方面の民意を
余すところなく把握しての
確に対応していきたいと考
えておりますので、町民各
位のご指導の程よろしくお
願い申し上げます。

町民の皆様にとりまして、
幸多き良き年でありまして、
うお祈り申し上げますよ
年頭のごあいさつとさせて
いただきます。

一月七日、中央公民館で「平成十四年町民新年の
集い」が開催され、町の各代表者や一般町民ら約百
七十人が出席しました。

開会后、出席者全員で君が代と一月一日を斉唱し、



年 20

う
ま

年頭の辞

新年明けましておめでと
うございます。

明るい希望に満ちた新春
を迎え、町議会を代表し町
民の皆様から喜びを申
し上げます。

昨年、幸いにして台風
等の大規模な災害に襲われ
ることもなく、米の作柄も
まずまずとなり、また、町
の観光の拠点となる斜陽館
観光物産館マデニー、津
軽三味線会館の三施設が一
体となり、多数の観光客に
利用されておりますことは、



金木町議会議長
三 潟 春 樹

町の活性化にもなり大変喜
ばしいことでもあります。

一方、米国では航空機に
よる同時多発テロ事件が発
生し全世界を震撼させまし
た。

報道関係によれば、日本も
テロの標的にされていると
の情報もあり、県内に米軍
の基地もある我々も安閑と
してはいられなくなってお
ります。

また、国内ではテロ事件
の影響による海外旅行の自
粛や狂牛病問題、県内では
弘前で発生した武富士の放
火殺人事件や県住宅供給公
社職員による多額横領事件
そして不況による企業の雇
用状況が一層悪化しており
ます。このような状況下で、
鳴海町政の二期目がスター
トする訳ですが、国による
地方交付税の減額等厳しい
財政状況下で、住民の社会
福祉、生活環境の整備等効
率的な町づくりを期待する
ところであります。

最後に、皆様方のご健勝
とご多幸を心から祈念いた
しまして、新年のごあいさ
つといたします。



引き続き鳴海町長と三潟議長が年頭のあいさつ、其
田文字ファーマーミングレディース会長が年頭の抱負を
述べました。この後、今誠康商工会長の音頭で乾杯
し、今年の飛躍を誓い合いました。

- | | | | |
|-----|-------|----|-------|
| 副議長 | 中谷 秀八 | 議員 | 伊藤 永慈 |
| 議員 | 高杉 利彦 | 議員 | 川口 隆 |
| 議員 | 田中 昇 | 議員 | 原田 寛 |
| 議員 | 古川 幸治 | 議員 | 野宮 一穂 |
| 議員 | 秋元 洋子 | 議員 | 桑田 茂 |
| 議員 | 田中 賢一 | 議員 | 小田桐喜吉 |

「あしの園」慰問

12月16日、あしの園に入居しているお年寄りに地元のそばを食べてもらいながら余興を楽しんで「喜びと元気」を出してもらおうと金木ライオンズクラブ（新岡忠雄会長）が主催し、川倉加工クラブが協力した慰問が行われました。

加工クラブの手打ちソバの実演、カラオケ・手踊り・手品などを披露し集った皆さんを楽しませていました。この後、入居者にプレゼントを贈呈し、お昼にはできたての手打ちソバの会食が行われ、お年寄りたちは美味しそうに食べていました。



12月21日、金木幼稚園（園長＝片岡八千雄）きりん組の園児30人が今年で19回目となるあしの園の訪問を行い、入居しているお年寄りたちに歌とお遊戯をプレゼントしました。

お年寄りたちは歌を聞きながら手拍子をし、お遊戯を見ながら「あら～ かわいいじゃ」と拍手をして楽しんでいました。最後に園児たちがぬり絵したシールを貼った飲み物を一人ひとりに手渡し、「おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気でね」と全員であいさつ。お年寄りたちは笑顔でこたえていました。

小学生相撲2連覇2冠達成

金木小学校5年生で相撲部の野上怜くんが、両国国技館で行われた第17回わんぱく相撲全国大会（7月29日開催）と第14回全日本小学生相撲優勝大会（12月9日開催）で、昨年に続いて優勝を果たし2連覇2冠を達成しました。

12月14日、優勝報告のために齊藤校長、白川相撲部監督と一緒に役場を訪れた野上くん、鳴海町長は「来年も優勝目指してがんばってください」と話し、野上くんは「これからも一生懸命練習して、3連覇を目指します」と力強く話しました。



年末の音楽プレゼント

金木病院1階ロビーで12月21日、入院患者や病院職員の方に生の吹奏楽演奏を聞いてもらおうと、金木小学校（校長＝齊藤憲治）吹奏楽部員45人によるクリスマスコンサートが行われました。

児童たちの曲紹介でクラシックや歌謡曲などアンコールも含めて11曲を演奏し、集まった人たちから拍手が送られていました。中でも「コックさんのボルカ」ではまな板やナベのふたなどを打楽器に見立て演奏、コミカルな音に会場からは笑い声が出ていました。

杉山院長から「短い時間でしたが、素晴らしい音楽を聞いて明日への活力にしたいと思います」とお礼の言葉が送られました。

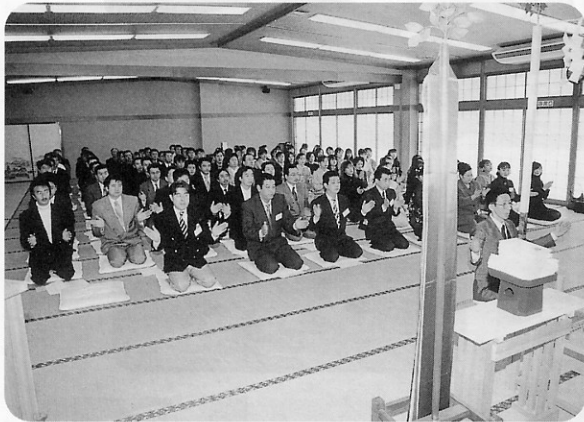
スキーシーズン到来で安全祈願

新装となった嘉瀬スキー場の安全祈願祭が12月18日、第一ヒュッテで行われました。

祈願祭では、出席者による玉串の奉奠など神事が厳粛の中で行われました。引き続き、お神酒による乾杯の音頭で中谷教育長が「ジャンプ台、ロープ塔などが新設された嘉瀬スキー場でスキー選手の底辺拡大を願っています」とあいさつし、今シーズンの安全を祈願しました。この後、町体協スキー部6人によるたいまつ滑走が行われ、ゲレンデに見事なシュプールを描いていました。

なお、嘉瀬スキー場では1月22日から2月の中旬までの週2回、嘉瀬小学校4年生以上の児童が、体育の授業・部活動・クラブ活動の時間を利用して教育委員会の古川純一主事の指導でスキー教室（ジャンプ・距離競技）を行います。

また、1月25日より新ジャンプ台で古川主事の本格的指導によるナイタージュニアジャンプ教室が小学生を対象として行われます。



「金木町合同厄払い」開催

1月5日、今年大厄を迎えた男女102人が中央公民館で「合同厄払い」を行い、1年間の降りかかる厄難を払い落としました。

今年は昭和36年4月2日から37年4月1日生まれの男性58人と昭和45年4月2日から46年4月1日生まれの女性44人が参加。式ではお払いを受けた後、出席者一人ひとりの名前が記された祝詞を神主が奏上、代表者が玉串を奉奠する神事が行われました。

式後の祝宴では、塚本英希実行委員代表が挨拶。続いて鳴海町長が祝辞を述べ出席者を激励しました。

青年海外協力隊活動報告

青年海外協力隊員としてアフリカ大陸中央部にあるニジェール共和国で2年間の派遣期間を終えた白川裕記さん（沢部）が帰国報告のために1月8日、鳴海町長と角田助役を表敬訪問しました。

白川さんは首都ニアメ市の技術訓練電子科で指導者として活躍。一台しかないパソコンで教えていたが、父の信一さんが譲り受けた中古パソコン12台を送り、パソコン教室を開催するなどパソコン普及に貢献しました。

今後の抱負は「ニアメ市に戻り、パソコンショップを運営し安価な流通経路を確立させ普及させたい」と話していました。

